

授業科目名	基礎ゼミナールⅡ		担当教員	◎下睦子、○高橋玲子、大野知代、岡本明美、榊本輝樹、路 璐、有家香、中川泰弥、何雨竹、高橋智子	科目ナンバリング LE138
必修	開講年次：1年後期	単位：1単位	授業形態：演習30時間		

【授業概要】

個人・家族・集団・地域における健康や環境に関する情報収集を行い、現状を分析し、課題や問題点を導き出す。基礎ゼミナールⅡでは、情報リテラシー、コミュニケーション・チームワーク能力、論理的思考力を培う。

【達成目標】

1. グループで関心のある個人・家族・集団・地域における健康や環境に関するテーマを決定し、テーマに関する情報を収集し、適正に活用できる。
2. 情報を批判的・論理的に吟味・分析・統合し、表現できる。
3. グループディスカッションを通し、メンバー間の相互理解と検討を重ね、問題・課題の明確化をはかる。
4. テーマに関する調査内容とそこから導き出された問題・課題について、論理的にまとめ発表できる。

【履修条件】

「基礎ゼミナールⅠ」を修得していること。

【授業計画】

- [01] 全体ガイダンス／オリエンテーション
- [02] 「情報リテラシー」、「グループ学習」について
- [03] グループ演習：個人・家族・集団・地域における健康や環境に関するテーマの決定①
- [04] グループ演習：個人・家族・集団・地域における健康や環境に関するテーマの決定②
- [05] グループ演習：テーマに関する情報収集①
- [06] グループ演習：テーマに関する情報収集②
- [07] グループ演習：情報の吟味・分析・統合①
- [08] グループ演習：情報の吟味・分析・統合②
- [09] グループ演習：テーマに関する問題・課題の明確化①
- [10] グループ演習：テーマに関する問題・課題の明確化②
- [11] グループ演習：発表準備①
- [12] グループ演習：発表準備②
- [13] 全体発表
- [14] 全体発表
- [15] まとめ

【教科書】

学習技術研究会(2019)：知へのステップ 第5版—大学生からのスタディ・スキルズ. くろしお出版.

【参考書】

佐藤望・湯川武・横山千晶・近藤明彦(2020)：アカデミック・スキルズ(第3版)——大学生のための知的技法入門. 慶應義塾大学出版会.
北尾謙治・石川有香・西納春雄・実松克義・早坂慶子(2005)：広げる知の世界—大学でのまなびのレッスン. ひつじ書房.

【評価方法・評価基準】

課題演習(70%) 課題探求・発表に向けた実践活動(30%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：事前の予習として、教科書の指定された箇所や資料を読み内容を理解しておく。(1時間)
事後学習：グループ演習で必要な課題について調べ記述する。(1時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅲ. チーム医療におけるコミュニケーションとコラボレーション能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートについては必要なコメントを付しフィードバックする。演習への取り組みやグループ討議について適宜助言し、進めていく。

【備考】

基礎ゼミナールⅡの学習は基礎ゼミナールⅢ、研究ゼミナールⅠ・Ⅱにつながるため、主体的・積極的に取り組むこと。